

# 分析結果報告書〔8〕 1 / 4

## 3. 大気試料（揮発性有機化合物）

分析を実施していない項目の分析結果や適用している分析方法や分析機器等により記入が不要な部分（又は記入が難しい部分）等があります。そのような場合には記入の必要はありません。

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得 (複数回答可)	1. ISO 9001~9003 2. ISO/IEC 17025(カイト <sup>®</sup> 25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1~4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析担当者名	
分析担当者の経験年数	( ) 年
分析担当者の実績 (年間の分析試料数)	( )
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

測定回数 注1)	( )
----------	-----

注1) 分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連操作を行った回数(1~5の整数)を記入する。  
 詳細項目の分析結果については、この測定回数分の分析結果を表<分析結果(詳細項目)>に記入する。  
 参照項目の分析結果については、1個の分析結果を表<分析結果(参照項目)>に記入する。複数回測定では代表値(例えば、平均値等)を記入する。

<分析結果(詳細項目)>

回数 注2)	分析項目	分析の実施 注3)	分析結果(μg/m <sup>3</sup> ) 注3)	
			検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値
1回目	ベンゼン	1. 実施 2. 実施せず		
	塩化メチル	1. 実施 2. 実施せず		
	トルエン	1. 実施 2. 実施せず		
2回目	ベンゼン	1. 実施 2. 実施せず		
	塩化メチル	1. 実施 2. 実施せず		
	トルエン	1. 実施 2. 実施せず		
3回目	ベンゼン	1. 実施 2. 実施せず		
	塩化メチル	1. 実施 2. 実施せず		
	トルエン	1. 実施 2. 実施せず		
4回目	ベンゼン	1. 実施 2. 実施せず		
	塩化メチル	1. 実施 2. 実施せず		
	トルエン	1. 実施 2. 実施せず		
5回目	ベンゼン	1. 実施 2. 実施せず		
	塩化メチル	1. 実施 2. 実施せず		
	トルエン	1. 実施 2. 実施せず		

注2) 上記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。  
 注3) 分析を実施した場合、「分析結果」(「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」)を記入する。  
 分析結果(検出下限値以上)は有効数字3桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。  
 記入にあたっては、記入間違いや単位間違い等がないように注意する。

# 分析結果報告書〔8〕 2 / 4

<分析結果(参照項目)>

区分	分析項目 注4)	分析の実施 注5)		分析結果(μg/m <sup>3</sup> ) 注5)	
				検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値
有害大気汚染物質 (優先取組物質)	トリクロロエチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	テトラクロロエチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	ジクロロメタン	1. 実施	2. 実施せず		
	アクリロニトリル	1. 実施	2. 実施せず		
	塩化ビニルモノマー	1. 実施	2. 実施せず		
	クロロホルム	1. 実施	2. 実施せず		
	1,2-ジクロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,3-ブタジエン	1. 実施	2. 実施せず		
有害大気汚染物質等 (優先取組物質以外)	エチルベンゼン	1. 実施	2. 実施せず		
	塩化アリル	1. 実施	2. 実施せず		
	キシレン類	1. 実施	2. 実施せず		
	クロロベンゼン	1. 実施	2. 実施せず		
	四塩化炭素	1. 実施	2. 実施せず		
	1,2-ジクロロエチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1-ジクロロエチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,2-ジクロロプロパン	1. 実施	2. 実施せず		
	o-ジクロロベンゼン	1. 実施	2. 実施せず		
	p-ジクロロベンゼン	1. 実施	2. 実施せず		
	スチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1,2-テトラクロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1,2-トリクロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,2,4-トリクロロベンゼン	1. 実施	2. 実施せず		
	二臭化エチレン	1. 実施	2. 実施せず		
	プロモホルム	1. 実施	2. 実施せず		
	プロモメタン (臭化メチル)	1. 実施	2. 実施せず		
	クロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		
	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン (HCFC142b)	1. 実施	2. 実施せず		
	クロロジフルオロメタン (HCFC22)	1. 実施	2. 実施せず		
	ジクロロジフルオロメタン (CFC12)	1. 実施	2. 実施せず		
	ジクロロテトラフルオロエタン (CFC114)	1. 実施	2. 実施せず		
	2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン (HCFC123)	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC141b)	1. 実施	2. 実施せず		
	1,3-ジクロロプロペン	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1-ジクロロ-2,2,3,3,3-ペンタフルオロプロパン (HCFC225ca)	1. 実施	2. 実施せず		
	1,3-ジクロロ-1,2,2,3,3-ペンタフルオロプロパン (HCFC225cb)	1. 実施	2. 実施せず		
	トリクロロトリフルオロエタン (CFC113)	1. 実施	2. 実施せず		
	トリクロロフルオロメタン (CFC11)	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1,1-トリクロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		
	トリメチルベンゼン類	1. 実施	2. 実施せず		
	1,1-ジクロロエタン	1. 実施	2. 実施せず		

注4) 試料ガス中にはすべての分析対象項目を含んでいるとは限らない。

注5) 分析を実施した場合、「分析結果」(「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」)を記入する。

分析結果(検出下限値以上)は有効数字3桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。

記入にあたっては、記入間違いや単位間違い等がないように注意する。

複数回測定では代表値(例えば、平均値等)を1つ記入する。

# 分析結果報告書〔8〕 3 / 4

<分析方法等>

分析開始月日	月	日	
分析終了月日	月	日	
分析方法	1. GC/MS 2. その他 ( )		
分析時の温度	( ) °C		
分析時の大気圧 圧力 単位	1. psi 2. kPa 3. その他 ( )		

<試料採取容器 (キャニスター) の洗浄等>

減圧・加湿ゼロガス導入の操作	1. 実施する 2. 実施しない (他の方法の概要: ) 1. 実施の場合: 減圧時の圧力 ( ) 圧力の単位: 1. psi 2. kPa 3. その他 ( ) 回数 ( ) 回
GC/MSによる確認 採取容器の減圧 (最終の減圧)	1. 実施する 2. 実施しない 圧力 ( ) Pa 圧力の単位: 1. psi 2. kPa 3. その他 ( )

<試料の濃縮>

試料の希釈操作 希釈倍率 (圧希釈の場合) 試料加圧前圧力 試料加圧後圧力 圧力の単位	1. 希釈しない (希釈倍率=1) 2. 圧希釈 3. その他の希釈 ( ) ( ) 注1) ( ) 注1) ( ) 注1) 1. psi 2. kPa 3. その他 ( ) 注6)
濃縮部	1. 吸着濃縮管 2. 低温濃縮管 3. その他 ( )
除湿部	1. あり 2. なし
濃縮部の加熱温度	( ) °C
トラップ管	1. あり 2. なし
トラップ管の加熱温度	( ) °C
パージガス	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他 ( )

注6) 希釈しない場合には、「希釈倍率」は「1」とする。圧希釈の場合には、加圧前後の圧力とその単位を記入する。

ただし、圧希釈以外の場合には、圧力と単位は記入しない。

注7) 希釈した場合には、希釈した試料量を記入する。

<GC/MS>

GC 型式	1. CP-3800 2. GC17シリーズ 3. GC2010シリーズ 4. 5890シリーズ 5. 6890シリーズ 6. 7890シリーズ 7. TRACE GC 8. その他 ( )
MS 型式	1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 5975シリーズ 10. 6890シリーズ 11. QP5000シリーズ 12. QP5050シリーズ 13. QP2010 14. オートマスシリーズ 15. その他 ( )
装置型式	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. 休トラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他 ( )
イオン検出法	1. SIM法 2. マスクマトグラム法 3. その他 ( )
カラム 型式	1. Aquatic 2. Aquatic 2 3. BPX5 4. BPX50 5. BPX-DXN 6. BPX-DXN I 7. BPX-DXN II 8. CP-Sil 8 9. CP-Sil 88 10. DB1 11. DB624 12. DB5 (MS) 13. DB17 (MS, HT) 14. ENV5 (MS) 15. ENV17 (MS) 16. HP1 17. HP5 (MS) 18. HT8 (PCB) 19. InertCap1 (MS) 20. InertCap5 (MS) 21. InertCap25 (MS) 22. PTE5 23. RH12 (MS) 24. Rtx5 (MS) 25. Rtx50 (MS) 26. Rtx624 (MS) 27. Rtx2330 28. SLB5MS 29. SPB1 30. SPB5 31. SP2331 32. TC5 33. VF5MS 34. ZB5MS 35. その他 ( )
内径	( ) mm
長さ	( ) m
膜厚	( ) μm
昇温条件 初期	温度 ( ) °C、温度保持 ( ) 分
1回目の昇温	速度 ( ) °C/分 到達温度 ( ) °C 温度保持 ( ) 分
2回目の昇温	速度 ( ) °C/分 到達温度 ( ) °C 温度保持 ( ) 分
3回目の昇温	速度 ( ) °C/分 到達温度 ( ) °C 温度保持 ( ) 分
4回目の昇温	速度 ( ) °C/分 到達温度 ( ) °C 温度保持 ( ) 分
(5回以上の昇温の場合)	最終温度 ( ) °C、到達温度 ( ) °C 温度保持 ( ) 分
昇温回数	回数 ( ) 回
キャリアーガス条件 種類 注8)	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他 ( )
流量 注8)	( ) 単位: 1. mL/分 2. cm <sup>3</sup> /秒
圧力 注8)	( ) 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他 ( )
注入 量	( ) μL
注入口温度	( ) °C
注入方式	1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. パルスドスプリット 5. パルスドスプリットレス 6. その他 ( )

注8) 流量又は圧力を記入する。

# 分析結果報告書〔8〕 4 / 4

< 定量用質量数及び確認用質量数 >

項目	定量用質量数	確認用質量数
ベンゼン	1. 78 2. その他 ( )	1. 77 2. その他 ( )
塩化メチル	1. 50 2. その他 ( )	1. 52 2. その他 ( )
トルエン	1. 91 2. その他 ( )	1. 92 2. その他 ( )

< 標準ガス >

標準原ガス 区分 購入：メーカー名	1. 購入 2. 自作 1. 太陽日酸㈱ 2. 高千穂化学工業㈱ 3. 住友精化㈱ 4. その他 ( )
標準原ガス 購入（又は調製）後の経過月	( ) ケ月
標準ガス 調製からの経過月	( ) ケ月

< 検出下限 >

項目	検出下限 注9)	
	装置	試料
ベンゼン	( ) ng	( ) $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化メチル	( ) ng	( ) $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トルエン	( ) ng	( ) $\mu\text{g}/\text{m}^3$

注1 2) 「装置」検出下限はGC/MSへの量 (ng)、「試料」検出下限は試料中の濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ) として示す。

< 検量線の作成等 >

項目	区分	記入欄
定量方法 方法 内標準法：内標準物質の種類 内標準法：内標準物質の添加量		1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. その他 ( ) 1. トルエン-d <sub>8</sub> 2. フルオロベンゼン 3. クロロベンゼン-d <sub>5</sub> 4. その他 ( ) ( ) ng (濃縮部中の量)
ベンゼン	検量線	作成点数 ( ) 作成範囲：最小 ( ) ~ 最大 ( ) 作成範囲の単位：1. ng 2. ppb 3. $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 4. その他 ( ) 注1 0) 最高濃度の指示値 ( )
	試料 注1 1)	指示値 1回目 ( ) 2回目 ( ) 3回目 ( ) 4回目 ( ) 5回目 ( )
	空試験	指示値 ( )
塩化メチル	検量線	作成点数 ( ) 作成範囲：最小 ( ) ~ 最大 ( ) 作成範囲の単位：1. ng 2. ppb 3. $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 4. その他 ( ) 注1 0) 最高濃度の指示値 ( )
	試料 注1 1)	指示値 1回目 ( ) 2回目 ( ) 3回目 ( ) 4回目 ( ) 5回目 ( )
	空試験	指示値 ( )
トルエン	検量線	作成点数 ( ) 作成範囲：最小 ( ) ~ 最大 ( ) 作成範囲の単位：1. ng 2. ppb 3. $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 4. その他 ( ) 注1 0) 最高濃度の指示値 ( )
	試料 注1 1)	指示値 1回目 ( ) 2回目 ( ) 3回目 ( ) 4回目 ( ) 5回目 ( )
	空試験	指示値 ( )

注1 0) GCへの注入量 (ng) 又は濃度 (ppb又は $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ) で示す。

注1 1) 測定回数分の値を記入する。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--